

第4号議案

社会資本総合整備事業(道路改築)
ふしおがおおこ とみた
 主要地方道 藤岡大胡線 富田工区 前橋市

着工年度

平成14年度

評価理由

10年継続

1. 事業の目的

- ・上武道路の全線開通などに伴う将来交通量の増加に対応し、前橋南西部等からの交通アクセスを向上させる。
 (H17センサス:15,628台/日 混雑度1.24 H42推計:22,700台/日)
- ・ローズタウン住宅団地へのアクセス性を向上させることにより、分譲・入居の促進を支援する。
 (平成29年度までに 54.9ha 1,300戸の分譲を予定)



ローズタウン分譲状況(住宅団地)



渋滞状況

2. 事業概要と進捗状況

事業概要

事業場所	前橋市小島田町～前橋市富田町	
区分	今回	事業当初
全体事業費	3,900百万円	3,500百万円
全体事業費増減の理由	・埋蔵文化財包蔵地による調査費の増大	
事業期間	H14～H25	H14～H18
事業内容	道路延長 3,270m 幅員 15.0～23.5m	道路延長 3,270m 幅員 15.0～23.5m

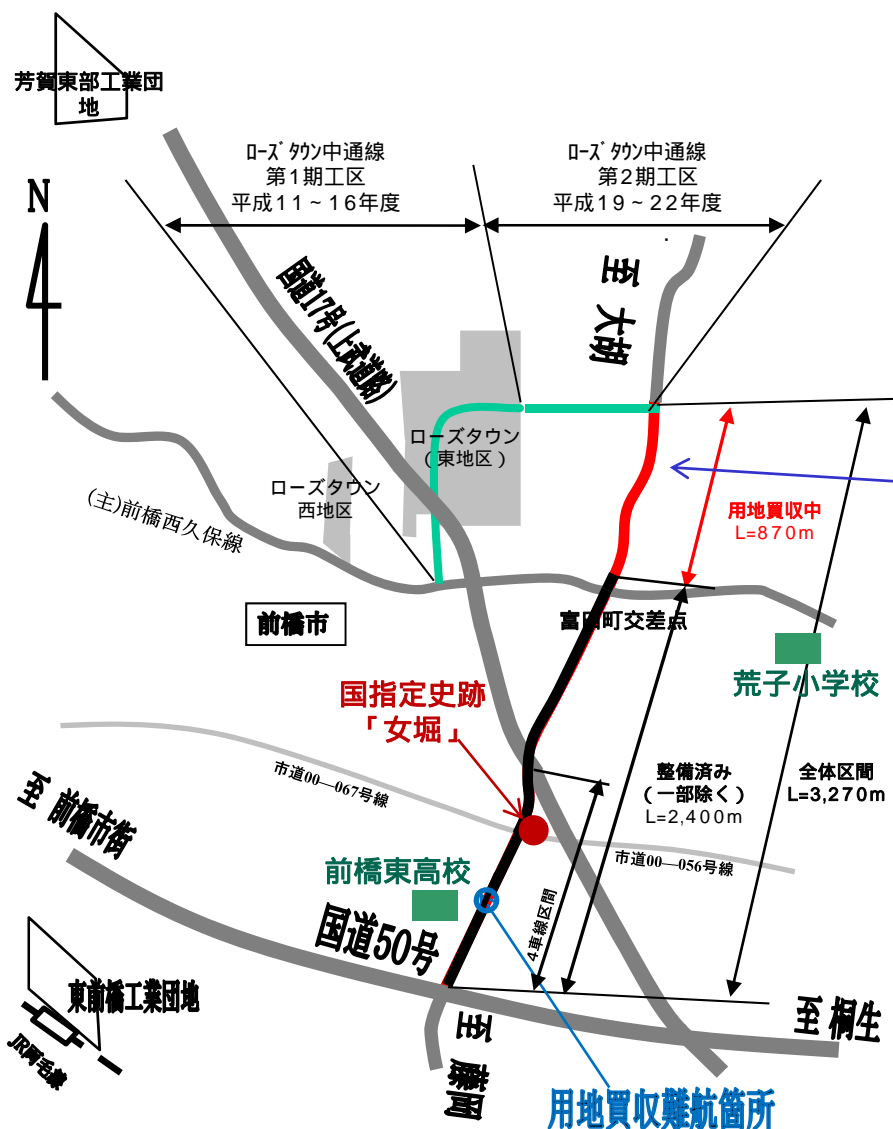
事業経緯

年度	主な経緯 (工区)
H15	用地買収着手
H17	工事着手
H21	国道50号～ 前橋西久保線供用開始 (一部暫定)
H22	前橋西久保線 ～中通り線 用地買収着手

進捗状況

	全体計画	現在の 進捗状況 (進捗率)	前回評価時の 進捗状況 (進捗率)
事業費	3,900百万円	3,383百万円 (86.7%)	
用地買収	30.839m ²	26,790m ² (86.9%)	
計画延長	3,270m	2,400m (73.4%)	

2. 事業概要と進捗状況(図面・写真等)



【ローズタウン分譲状況】



【未整備区間】

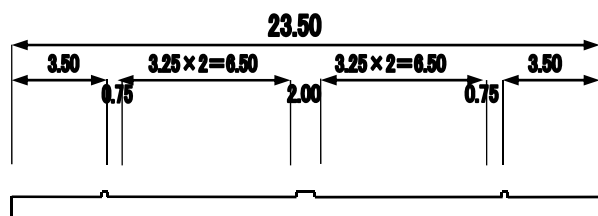


【埋蔵文化財】

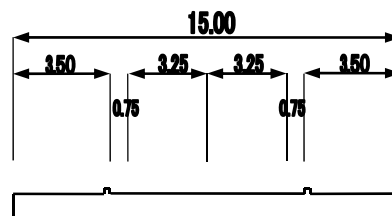


【計画標準断面図】

起点～上武道路



上武道路～終点



【現況写真:整備済み】



【現況写真:整備済み】



3. 事業の目的・必要性に変化はあるのか？

- 国道17号(上武道路)については、国により順調に整備が進められており、全線開通等に伴い将来交通量の増加が見込まれている。(H17センサス:15,628台/日、混雑度:1.24 H42推計:22,700台/日)。
- ローズタウン住宅団地の計画区画数1,300に対して、現在の分譲区画数は、404区画であり、うち371区画が分譲済みである。(分譲済率92%) 今後も分譲が予定されており、H29までに全区画を分譲する見込である。

ローズタウン分譲計画

地区	年度	分譲区画数
西地区	～16	265
東地区	～22	139
	23	100(見込み)
	24	111(見込み)
	25～29	685(見込み)
計		1,300



4. 目的を達成するための事業(手段)は適当か？

・国道50号～(主)前橋西久保線が一部の区間を除き供用済みで、ローズタウン中通り線以北は他事業により整備済みであり、ローズタウン中通り線についてもH23年4月に完成している状況である。

また、前橋東高校や荒子小学校への通学路として位置づけられていることから、自転車・歩行者の安全な通行環境を確保する必要があるため、残りの区間を早期に整備する必要がある。

・完成箇所は部分供用することで、事業効果の早期発現を図っており、交差点の渋滞が解消されている。

費用便益分析

		計 画 時		今 回 再 評 価 時		備 考 便 益 説 明
算出根拠マニュアル		費用便益分析マニュアル(案) 建設省 道路局・都市局 平成10年6月		費用便益分析マニュアル 国土交通省 道路局、都市・地域整備局 平成20年11月		現在、H22交通量調査結果を用いた費用便益分析を実施中です。
基 準 年		平成14年		平成23年		
区 分	項 目	現 在 価 値	構 成 比	現 在 価 値	構 成 比	
費 用 (千円)	工 事 費	2,900,000	90.6%	4,466,000	94.6%	
	維 持 管 理 費	300,000	9.4%	254,000	5.4%	
費 用 合 計 (C)		3,200,000		4,720,000		
便 益 (千円)	走 行 時 間 短 縮 便 益	7,300,000	68.2%	14,113,000	100.9%	
	交 通 事 故 減 少 便 益	900,000	8.4%	11,000	0.1%	
	走 行 経 費 減 少 便 益	2,500,000	23.4%	-139,000	-1.0%	
便 益 合 計 (B)		10,700,000		13,985,000		
費 用 対 効 果 分 析 (B / C)		3.33		2.96		

5. 事業が長期間要している理由は？

【元々が長期計画

不測の事態により長期化】

- ①境界問題により用地買収が難航している箇所がある。(事業認定申請事前協議中)
- ②平成18年度に前橋市が財政難を理由に、ローズタウンから藤岡大胡線へのアクセス道路であるローズタウン中通り線2期工区を事業休止したため、前橋西久保線との交差点以北の工区の着手を見送ることとした。その後、前橋市が平成19年度に事業再開したことに伴い、平成21年度から未着手工区に着手することとしたため。
- ③埋蔵文化財包蔵地が多数存在したため、調査期間に不測の日数を要したため。

【ローズタウン中通り線2期工区】
H23.4月供用開始



【用地取得難航箇所状況】



【埋蔵文化財】



6. 事業の対応方針は？

事業継続

事業中止

変更なし ・ 事業計画の変更 ・ スケジュールの変更

上武道路は国により順調に整備が進められており、全線開通に伴い将来交通量の増加が予想され、前橋周辺のアクセスを向上させるとともに、ローズタウン住宅団地においては、今後も分譲が予定されていることから、住宅団地へのアクセスを向上し、分譲、入居を促進させるために事業を実施する必要がある。

全体工区のうち、国道50号から前橋西久保線までの2,400mは一部区間を除き平成22年3月16日に供用済みである。また、前橋西久保線以北の工区においては、平成22年度より用地買収に着手しており、用地買収進捗率は22%となっている。今後は地元の協力支援のもと、順調に用地買収が進捗する見込みとなっていることから、平成25年度の完成を目標に事業の進捗を図りたい。

供用済み工区のうち、用地買収が難航している箇所については、任意交渉を継続するとともに、土地収用法に基づく事業認定申請の事前協議を進めているところである。